

学校目標  
純朴にしてください子ども

令和3年度  
学校だより No.9

北山っ子

茅野市立北山小学校  
R3.11.29(月)  
校長 小口 かおり

## 令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果から

本年度5月27日(木)に6年生について全国学力・学習状況調査が行われ、その結果が公表されました。本校ではこの結果を受け、これからの指導に役立てていきたいと考えております。なお、6年生一人ひとりの結果につきましては、個別懇談会の折にお渡しいたします。

### 1 これからの学力向上に向けての考察

#### (1) 国語力の向上

- ・学習意欲は高く、課題に対して自分なりの考えを持つことはできていますが、それを表現して他者に伝える力(話す・書く)が弱いです。これは経験や体験不足から考えると考えられますので、グループでの話し合い活動やケースに応じたロールプレイを積極的に取り入れていきたいと考えております。また、漢字の定着率も低いので新出漢字を反復練習する機会を複数回行うなどして「読み・書き」が確実に身に付かせるようにしています。

#### (2) グラフやデータから読み取る活動の充実(算数)

- ・グラフやデータを比較したり、必要な情報を読み取ったりして数的処理を行う課題での正答率が低かったです。授業の中で、データから読み取れることを話し合う活動を取り入れることで、必要な情報を読み取る力をつけられるようにしています。

#### (3) お互いに学び合う授業作り

- ・わからないときには、すぐにわからないと声を上げられる学びの環境を作っています。
- ・児童同士の学び合いが進んできています。課題解決の中で、わからないことや困ったことに対して早めに声をあげることができるよう声かけや指導をしています。

#### (4) 考える理由・根拠を明確にできる授業

- ・ペアやグループ学習において、自分の考えを伝えたり、共有できたりする児童が増えてきました。しかし、聞き役に徹したり、意見を言えずに終えてしまったりする児童もい

ます。協働学習で自分の意見を伝えることに苦手意識をもっている児童は、正答率も低い傾向がありました。共同学習の中で、ICTの活用も含めて活動への参加を支え、学びを深めることができるよう支援をしています。

- 児童が感じた事や考えた事について、その根拠を話すことのできる児童の育成を目指したいと考えています。そのために根拠や理由を語れるような問い返し、話し合いの場などを模索しています。

## 2 児童質問紙から

### (1) 規則正しい生活

「朝食を毎日食べていますか」について、毎朝食べていると回答した児童が95%いました。就寝時間、起床時間についてもある程度規則正しく生活できており、ご家庭での指導が充実していると考えられます。

### (2) 教科学習への参加意欲

国語科について、「教科の学習が好きか」の質問に対して「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と答えた児童の割合は全国平均を大きく超えました。算数科については平均並みでした。(国語 90.9% 算数 68.2%)

### (3) ICT・外国語教育の充実

表1のように「英語の勉強が好きですか」については「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と解答した児童が90.9%、また、表2のように「学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか」については「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と答えた児童も90.9%でした。茅野市の英語教育指導主事による授業支援や恵まれたALTの勤務体制によって、またICTではプログラミングを指導してくださる河西先生のICT授業など動機付けとなる取り組みの成果だと考えられます。

表1 「英語の勉強は好きですか」 全国平均比 18%増

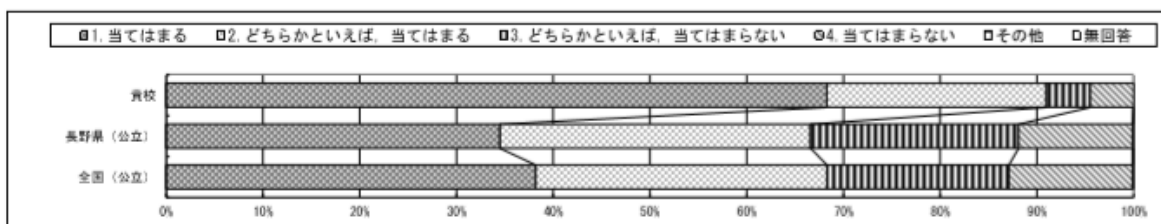


表2 「あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友だちと意見を交換したり、調べたりするためにどの程度使用していますか」 全国平均比 65%増

